

高齢化社会を迎えて

お年寄りに何かできることは 心のこもった温かい食事とふれあいを届ける。



現代のボランティア活動は、環境や福祉、リサイクルなど、多方面にわたっています。なかでも、お年寄りや障害者、子どもなどを対象にする福祉活動は、年々増える傾向にあります。高齢化社会を迎えたいま、社会福祉の観点からもこうした活動は欠かすことができません。

特に、一人暮らしで体の不自由なお年寄りにとって困難なことは、毎日の買い物や掃除、食事の支度など家事全般。

こうしたお年寄りに対して、何かできることはないだろうかと始められたのが「食事サービス」です。

活動内容もそれぞれのグループで工夫し、お年寄りからの要望やボランティア・グループのアイデアなどが十分盛り込まれています。例えば、保育園児と一緒に食事を配ったり、食事の味つけや好みのリクエストをとったりしています。

このような食事サービスは、単にお年寄りに食事を配達するだけではなく、栄養のバランスを考えた食事を提供するを通して、一人暮

家庭的な 味や雰囲気も 味わってもらおう

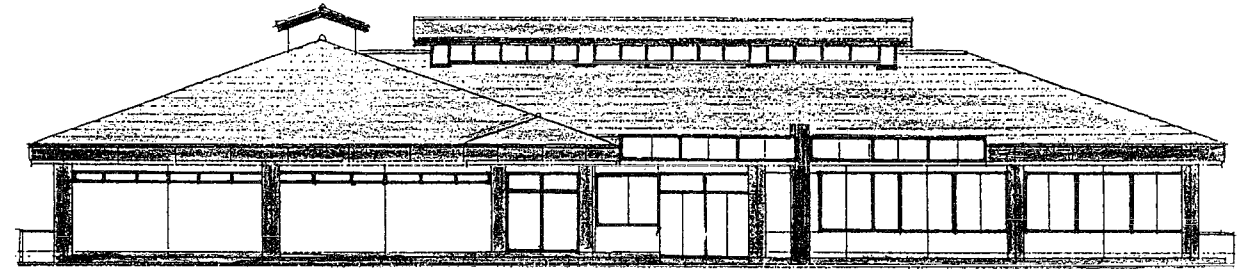
食事サービスは、主に買い物や調理が困難なお年寄りや障害者を対象に、自宅まで温かい食事を届けたり、地域の人々やボランティアの人たちと一緒に食事を楽しんだりする活動です。地域にあるさまざまなボランティア・グループが中心となり、多くの人の協力があつて支えられています。特に、家庭の主婦は経験や知識をフルに生かし、腕を振るっています。

高齢化社会には 欠かせない サービス

高齢化が進む現代社会において、お年寄りの一人暮らしや、老夫婦だけの世帯が、ますます増えていくと予測されます。そして、多くのお年寄りは地域という住み慣れた環境で末長く暮らしたいことを望んでいます。そのためには、地域社会という基盤がしっかりし、お互いが助け合っていかなければなりません。こうしたなかで、お年寄りや障害者を対象とした食事サービスは今後ますます求められていくことになるでしょう。

＜福祉の拠点施設＞

保健センター サービスセンター 概要決まる



人口の高齢化や疾病構造の変化に伴い、住民の健康づくり対策等の強化推進が強く求められている中、本村においても、本年度の主要事業として保健センター及びサービスセンターの建設が計画され、本格的着工に向け、準備が進められています。

両施設は、鉄筋コンクリート造り平屋建で保健センター、683・94㎡、サービスセンター、531・06㎡の合築で建設され、よりよい施設の充実、よりよいサービスの提供を行える施設として期待されています。

保健センター施設

多様化する保健ニーズに的確に対応するため、各種健康診査をはじめ、食生活改善、乳幼児健診などいろいろな施設が整っています。

- ◎管理部門
事務室、資料収納室
- ◎保健指導部門
保健指導室、健康相談室、個別相談室、機能訓練室
- ◎保健増進指導部門

サービスセンター施設

デイサービスセンターでは、人口の高齢化に伴い、在宅の寝たきり老人や虚弱老人等要

各種用途に沿った施設利用により、病气などの早期発見・早期治療、日常生活に適した栄養の摂取等、健康づくりの生活習慣の改善、知識普及にも役立つものと思われま

- ◎検査部門
診察室、検尿室、集団検診室、多目的ホール
- ◎栄養指導、調理実習室



▲来年からは幼児検診も保健センターで



▲入浴サービスも手軽に受けられます

介護老人が急増する中で、在宅福祉サービスの充実強化等、又、老人の心身機能の維持と家族の負担軽減を図るための施設としています。

- ◎日常動作訓練室、介護指導室等基本部門
- ◎食堂厨房等給食部門
- ◎特殊浴室等入浴部門

社会の高齢化は、今後ますます進むものと考えられ、健康で楽しい日常生活を送るためにも、デイサービスセンターの活用が重要視されるものと思われま